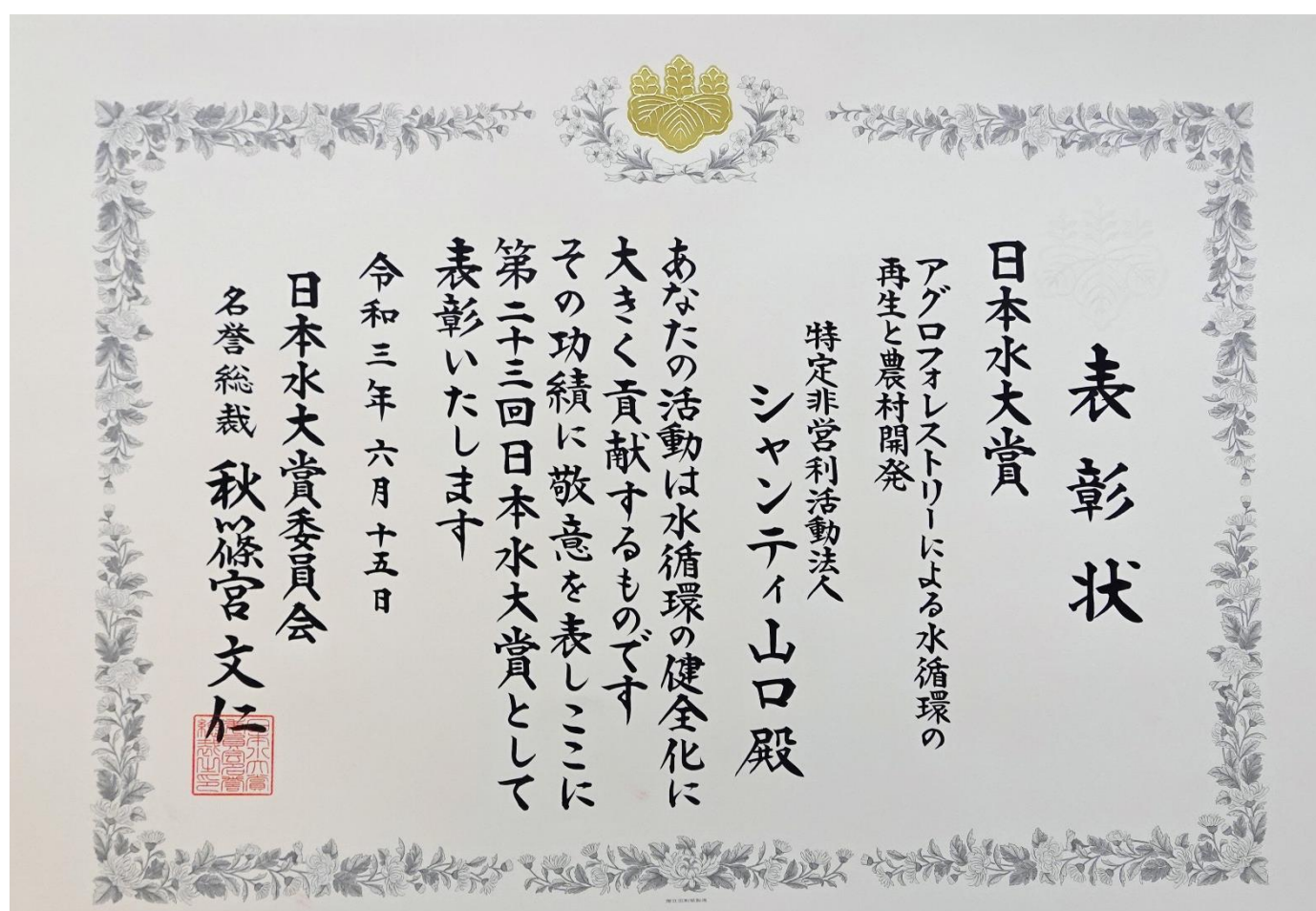


シャンティ山口受賞

「第 23 回日本水大賞」



シャンティ山口は、タイ国内の中でも極めて困難な生活をしている「山岳民族」に目を向け、インドシナ半島の戦争の歴史に翻弄された「民族」の問題を共に考え地方から情報を発信する地域に根差した NGO として活動しています。

「日本水大賞」<グランプリ>をいただきありがとうございます。
これを励みとし、新たな取り組みと「SDGs」12項目を目標に活動を継続していきます。

受賞評価：

【大賞】

活動主体	特定非営利活動法人 シャンティ山口 (団体・山口県)
活動名称	アグロフォレストリーによる水循環の再生と農村開発
活動の動機・背景	ラオス内戦でタイ国内山岳部に逃れた難民が生活苦を余儀なくされている。森林樹木の伐採とトウモロコシ栽培により土壌流出が進んでいる。村の共同トイレはし尿を地下浸透処理していたため伝染病が蔓延し、多くの老人や幼児が死亡していた。崩壊寸前の貧困の各村を対象に新しい農業手法で住民の自立を促し、持続可能で希望の持てる生活を目標に農村開発を展開することが必要である。
活動の概要	① 森林再生事業 森林伐採と大規模なトウモロコシ栽培により水源枯渇、洪水頻発、農業による健康被害が発生していた。トウモロコシのモノカルチャーからマンゴーやアボガド等の果樹へ転換することで森林再生を通し、水環境の改善、安全な生活と地域環境づくりを目指している。 果樹の収穫までには5～7年を要するが、収穫を迎えると定期的に収入も増加し、地産地消で安定した生活が確保され始めている。 ② エコトイレ普及開発事業 電気不要、汲み取り不要、ガスは収集し燃料として使用、臭気なし、浄化排水は畑の肥料等の機能を持つエコトイレシステムを開発し、84基を設置。施工は、全て現地の利用者が携わり、その過程で住民のコミュニティーや学習意欲達成感に加え、愛着と清潔の持続の習慣づける指導を行っている。これにより安全な飲料水が確保された。保健衛生や健康管理等の身近な知識の向上のため定期的に地域を巡回し、検診・治療・健康相談や生活環境セミナーも実施している。
評価ポイント	トウモロコシのモノカルチャーからアグロフォレストリー（森林農業）への転換により、民生の安定とコミュニティーの活性化を目指している。SDGs時代のモデルとなる活動。農業による健康被害、農地の破壊から果樹栽培への転換によって村落を立て直し、出稼ぎを解消するまでこぎつけたことは素晴らしい。果樹への転換による森林再生とエコトイレ普及開発はいずれも水環境改善につながる。地域のニーズに対応した長年の地道な活動が結実している。東南アジアでの日本の貢献、プレゼンスを示す点からも高く評価できる。
参考情報	国際活動が大賞を受賞することは初めてだが、活動を具体的なSDGsの一環として評価することに異議はなく、選定された。

～「地球環境保全活動」支援募金に、ご協力をお願いします。～